



伊崎田学園に関わる「ヒト・モノ・コト」は、いつもつながっていて、子どもたちの幸せを願っています。そんな思いからのキャッチフレーズ「いつもつながる。」です。

小学校創立150周年記念 コミュニティ・スクール イサキダミライ会議

地域（学校運営協議会）のみなさんといっしょに創り上げる学校教育活動を「コミュニティ・スクール」と呼びます。小学校のうち、何かと地域のみなさんからお手伝いいただく活動が多いのですが、学年が上がるにつれて「いっしょに活動」（参加）するようになり、さらに「いっしょに運営」（参画）する姿まで見越しています。それができるのが、小中一貫校である伊崎田学園の強みです。本年度はすでに伊崎田相撲等において、「主体的」に運営参画する中学生の姿が見られました。この「主体的」という言葉が非常に大事です。

似た言葉に「自主的」があります。掃除で例えると、決められた掃除の時間に玄関掃除をしていて、いつもはしない棚拭きをする。これ「自主的活動」です。ある程度決められた仕事に対して、積極的に取り組む活動と言えます。対して、決められた、教師に指示されたわけではないけど1人やグループで、学校をきれいにするための何らかの活動をする。これが「主体的な活動」です。高学年から中学生さらにこれから生きる子どもたちにとって、重要な力のひとつです。

さて、このイサキダミライ会議、当日メイン会場と各分散会場をオンラインでつなぐという画期的な運営方法でした。そして、会議の間、教師の発言は全くありませんでした。「校長先生のお話」も無しです。全てを仕切ったのは、ファシリテーターと呼ばれる8名の中学生による進行・司会者です。これをどうやって決めたかという公募です。校長室前に「イサキダミライ会議をお手伝いしてくれる中学生募集」だけで集まってくれたのです。「何か面白そうだから」と応募してくれたのです。これぞ「主体性」です。すごいですよね。当日までの打合せは、15分間を2回だけです。簡単なシナリオはありましたが、あとは任せました。「信頼して任せる」ことの重要性と子どもたちの可能性を十分に感じる時間となりました。

この「主体的な中学生」の活躍のおかげで、イサキダミライ会議は、大成功に終わりました。今回の校長巻頭言は、この中学生のことをぜひとも記録しておきたいという形になりました。

今回は、150周年でしたが、もしかするとこの会議は、来年度以降も続くかもしれないと思っています。それは、誰かが声を上げるかどうにかかっています。面白そうならやればいいし、そうでなければやらなければいいのです。

まさしく伊崎田コミュニティのミライにつながる中学生の活躍は、私たちにとっても後輩である小学生にとっても忘れられない姿になりました。

グループ	テーマ	ファシリテーター	サポーター
1	あったらいいな大型店舗	岩川礼央	牧瀬香鈴
2	未来のためにゴミを出さない町へ	岡本悠真	鍋山璃心
3	地球温暖化を防ぎたい	空中蓮	福松千菜
4	食品ロスをなくすには	田村源太郎	立迫雄大
5	スポーツ施設を作りたい	坂元凜介	村久木勇翔
6	未来の道路を作りたい	下平楓虎	西川京太

創立150周年記念イサキダミライ会議

11月9日（土）に創立150周年記念イサキダミライ会を実施しました。保護者、地域の方々にも多数ご参加いただき、子どもたちと一緒に伊崎田の明るい未来について考えました。各グループで話し合われた内容を紹介します。今回の会議が、さらにより良い伊崎田になるきっかけになると思います。

テーマ	話し合われた内容
1 大型店舗を誘致したい	地域の店等が共存できるような在り方を考えていく。伊崎田をよくするために良いところを紹介する。
2 未来のためにゴミを出さない町へ	物を最後まで使い切る。印刷ミスの紙を裏紙に使う。分別を呼びかけるポスターを作る。ペーパーレス（タブレットの活用）。
3 地球温暖化を防ぎたい	「こまめに電気を消す。」「近くの場所には徒歩や自転車で行く。」と言ったように自分たちでできることをしていく。
4 食品ロスをなくすには	給食は食べられる量をすぎ、残さない。買い物に行く際は、必要な物だけ買う。好き嫌いせずに食べる。等
5 スポーツ施設を作りたい	施設づくりは、予算の面から難しいだろうということで、「eスポーツ大会をしてはどうだろうか」ということになり賛成意見が多数出された。
6 未来の道路を作りたい	「いのしし注意」「速度を落とせ」等の看板を立てる。歩道や街頭の設置。曲がり角にミラーを設置する。



【テーマについての意見交換】



【総会司会の中学生】



【学校運営協議員によるご助言】

楽しく表現を～市音楽発表会～ 合奏は、小中合同合奏

11月8日（金）志布志市音楽発表会が行われました。本校からは、3、4年生が代表として参加しました。合唱「YUME日和」、合奏「ハッピー☆ブギ」を発表しました。

合奏「ハッピー☆ブギ」は、中学1・2年生と小中合同で合奏を行いました。伊崎田学園ならではの発表です。音楽の時間や自主練習で演奏力を磨いてきました。総勢50名の小中学生が一体となり、伊崎田学園らしい演奏を会場にいるたくさんの方々へ披露することができました。多くの方々へ感動を届けることができたのではないかと感じています。



【合唱 YUME日和】



【小中合同合奏 ハッピー☆ブギ】

12月の行事予定

- 6日（金）がんがら号来校
- 8日（日）ANYTHING GOES FESTIVAL 2024
※中学生が発表
- 9日（月）校内人権週間（13日まで）
- 12日（木）人権集会（5校時）
- 14日（土）持久走大会

- 14日（土）門松づくり（伊崎田学園PTA）
- 16日（月）持久走大会予備日
- 24日（火）2学期終業式（給食なし）
- 27日（金）仕事納め
- 大晦日～元旦 白鳥神社元旦祭
（希望者：神輿・干支交換儀式参加予定）



伊崎田の教育週間の取組

☆自由参観(11/1~7)

本年度は、午前中の自由参観を実施しました。来校された保護者や関係機関の皆様には、授業を参観しアンケートを記入していただきました。いただいたご意見は、今後の学校経営へ生かして参ります。

☆読書祭り(10/23)

市立図書館の職員4名をお招きし、読書祭りを行いました。多読者表彰の後、全校児童への読み聞かせを行いました。大きなしりとり絵本、大型絵本、紙芝居などの方法で、いろいろな話の読み聞かせがありました。本の世界に浸り、ほっとする時間を過ごすことができました。



【市立図書館の皆様方】



【しりとり絵本】

☆避難訓練(11/5)

今年度も市の津波防災訓練に合わせて、津波避難訓練を行いました。今年度は指定時間の午前10時が休み時間ということで休み時間における避難の仕方を学習しました。10時の緊急地震速報が鳴ると、近くにいる先生の指示に従い、机の下に身を隠すなどして揺れの収まりを待ちました。揺れが収まったことを確認した後、校庭中央に避難しました。

避難完了後に事後指導を行い、校長先生から「もしもの時に自分で考え行動することの大切さ」について話がありました。常日頃から、身の回りの危険を察知し、行動できる危険予知能力の育成に取り組んでいきます。

☆創立150周年記念 ドローン記念撮影(11/9)

心配された雨もあがり、150周年記念ドローン撮影を実施できました。下地を書いてくださった中山公文様、撮影していただいたSOLcreatorsの皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



【150周年記念の人文字】

☆学校保健委員会(11/9)

志布志市保健課の牧之瀬さんを講師にお迎えして、第2回学校保健委員会を小中合同で行いました。「睡眠ってすごい！」というテーマでしっかり寝ることの大切さについて学習しました。睡眠は脳や頭・体の疲れを休ませてくれます。



【学校保健委員会】

鹿児島・熊本 ～楽しかった修学旅行～

11月12日(火)、11月13日(水)に修学旅行を行いました。今年度から5・6年生の合同修学旅行となりました。1日目は、伊崎田から鹿児島までバスで移動し、維新ふるさと館を見学しました。鹿児島の歴史について、映像や実物から学びました。そこから鹿児島中央駅まで、4つの班に分かれての班別自主研修でした。各班が事前に計画していたルートで偉人の誕生地等を回りました。お昼になると、各班で好きなお店で昼食をとりました。その後、中央駅から新幹線で熊本に移動しました。

熊本では、市電に乗り、熊本城まで移動しました。復興中の熊本城を見学し、中では熊本城の歴史が分かる展示物を見て学びました。

熊本城からは、バスでホテルに移動しました。ホテルでは美味しいご飯を食べたり温泉に入ったりして、ゆっくりと過ごしました。次の日は、時間通り起床し、朝食をとり、ホテルを後にしました。

2日目は、グリーンランドでたっぷり遊びました。もっと遊びたいという声もたくさんありましたが、13時半にバスに乗り、17時頃に伊崎田まで戻ってきました。

5・6年生は、時間、集団行動のルールを守り、行動していました。天候にも恵まれ、楽しい修学旅行となりました。

(児童の感想)

修学旅行を終えて、ぼくは友だちとの友情を深めることができました。例えば、班別研修で、お互いに話し合ったり、マクドナルドで「おいしいね。」などのおしゃべりができて、そこで友情が深まったと思いました。ぼくが一番うれしかったことは、けんかが起きなかったことです。けんかがおきてしまうと、楽しくなくなってしまうので、そこに気を付けておしゃべりすることができました。これからも友だちを大切にして、学校生活を送りたいです。



【維新ふるさと館にて】



【新幹線乗り場にて】



【ホテルでの食事】



【グリーンランド乗り物】



【グリーンランドにて みんなで記念撮影】

- 「税を考える週間(硬筆の部)」 大隅地域振興局賞 2年 清瀧 凌来
- 吾平運送グループ旗少年ソフトボール大会(スポーツ少年団吾平大会) 3位 伊崎田ソフトボール少年団(敢闘賞:立和田優雅・成山小春)

稲刈り体験

10月18日(金)、5・6年生が体育館前にある学校の田んぼで稲刈り作業を行いました。長そで・長ずばんに裸足で田んぼに入り、鎌を握って精一杯刈り取ることができました。飼育小屋に干したのち乾燥させた後、脱穀して精米する予定になっています。最近では特になかなか経験することのできない貴重な体験をすることができました。



【稲刈り活動】

自分たちで育てた米は味もも格別なことでしょう。取れたての新米を食べる日が今から楽しみです。稲の提供から途中の定期的な田んぼの管理をしていただきました留中様に感謝も申し上げます。ありがとうございました。



【精一杯の稲刈り作業】

イサキダワークショップ

11月1日(金)県内外から70名近くの教育関係者をお迎えして、「イサキダワークショップ」を開催しました。

本校が今年度取り組んでいる、チーム担任制や午前40分5時間授業、小中乗り入れ授業等の「イサキダキャンパスモデル」について説明をして、LIVEEQというアプリを使って質疑を行いました。伊崎田小の職員集団の真摯な取組に多くの皆様方から、「感動しました」という感想を多数いただきました。

また、ワークショップの最後には、本校がチーム担任制を始める上でモデルにさせていただいた兵庫県の稲美町立加古小学校の前校長であられる吉田博明先生に講演をしていただきました。

伊崎田小学校が、今年度進めている様々な先進的な取組が、今後県内外に広がっていく予感を感じさせる「イサキダワークショップ」となりました。



【LIVEEQによるQAタイム】